



第4回定例会^[会期]9月17日~9月27日

平成3年第4回定例会が9月17日に招集され、平成3年度小浜市一般会計補正予算(第3号)をはじめ、議案17件、請願1件、陳情3件、意見書案4件の審査可決をして27日に閉会しました。

一般会計

(補正額) 5億9,667万円
(総額) 127億2,865万円

特別会計

(補正額) 2億8,186万円
(総額) 66億8,346万円

企業会計

(補正額) 4,399万円
(総額) 7億9,588万円

補正予算など十七議案可決

平成三年第四回小浜市議会定例会が九月十七日に招集され、会期を二十七日までの十一日間と決定し、直ちに審議に入りました。

今定例会では、平成三年度一般会計補正予算(第三号)をはじめ、十七議案が上程されました。

十七日には、議案十七件を総務、建設、産業経済、教育民生の各常任委員会に付託し翌十八日を休会することとして散会しました。

十九日、二十日の両日は本会議が再開され、九議員が市政全般について、一般質問を

行いました。

二十一日から二十六日までを休会とし、その間に委員会を開催。二十七日に本会議を再開し、まず、請願一件、陳情一件を閉会中の継続審査とし、続いて各常任委員長から、付託案件についての審査経過、結果が報告されました。

委員長報告に対する質疑、討論、採決を行い、付託されました全議案については、原案どおり可決されました。

引き続き、深谷建設常任委員長から「第八次治水事業五箇年計画の策定に関する意見書」、坂下産業経済常任委

員長から「第八次治山事業五箇年計画の策定に関する意見書」、森下総務常任委員長から「官公労働者の早期賃金決定と労働時間短縮を求める意見書」、「日・朝国交正常化の早期実現を求める意見書」がそれぞれ提出され、採決の結果、原案どおり可決し、関係機関に意見書を送付しました。

最後に、教育委員会委員の人事案件が提出され、採決の結果、全会一致をもちまして同意。今定例会に付議されました事件を全て議了し閉会しました。

会 期 日 程	
17日	本会議 会期決定(補正予算・条例)上程 質疑、委員会付託
18日	休 会
19日	本会議 一般質問
20日	
21日	休 会 (委員会審査)
26日	
27日	本会議 閉会中の継続審査 各常任委員長報告 質疑、討論、採決 意見書案 意見書第3号 " 4号 " 5号 " 6号 提案理由説明 採決 人事案件(教育委員会委員)一説明 採決

一般質問 ハイライト

9月定例会の一般質問は、9月19日、20日に行なわれ、岡議員、宮崎議員、松尾議員、岡尾議員、小川議員、石野議員、新谷議員、杵子議員、河端議員の9議員が、市政各般について質問を行いました。

(質問と答弁の主な要旨は次のとおり)

総合開発計画

Q 総合計画は、行政執行の根幹をなすものである。

本年度から第三次小浜市総合計画がスタートしたが、第二次総合開発計画の目標達成状況をいかに検証されたのか。検証に伴い、どのような部分で継承すべきと考えているのか伺いたい。

十年間の足跡として非常に重要なことであり、その成果を白書等により報告願いたい。

A 総合計画は、市の将来の発展の方向を明らかにし、市民と行政が一体となつて計画的なまちづくりを行うための指針となるものである。

このため、第二次総合開発計画の達成状況については、計画が市の進むべき方向性を示したものであり、数字で表れてくるべき性格のものではないと考えている。

しかしながら、振興計画の中でハード面に限つては、おおよその達成率を把握している。

第三次総合計画の策定にあつては、現状分析を行い課題と問題点を拾いあげ、それをベースにした。

総合計画は当然継続すべきものであり、今後とも第二次

と第三次の整合性を図りながら市政を運営してまいりたい。なお、第二次総合開発計画の成果については、庁内にて検討を行い、近く白書をもつてお答えしたい。

情報通信施設

Q 過去二年間、情報通信施設としてオフトーク通信を検討されていたが、その結果オフトーク通信を断念するに至つた経緯及び理由について伺いたい。

また、オフトーク通信以外の施設について、どのようなものを考えているのか。

A 情報通信施設の整備については、NTTのオフトーク通信施設を検討してきたが、機能面、維持管理面、先進地における利用状況など種々問題があり、総合的に判断した場合、ニューメディア時代に即応したものとして、地域住民に受け入れられるかどうか極めて疑問であつた。

このため、オフトーク通信の導入については断念したが、情報伝達施設の重要性は十分に認識しており、今後の対応について、今しばらく時間をいただきたい。

議案 No.	件名	提出	結果
議案第65号	平成3年度小浜市一般会計補正予算(第3号)	市長	原案可決
議案第66号	平成3年度小浜市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	"	"
議案第67号	平成3年度小浜市駐車場事業特別会計補正予算(第1号)	"	"
議案第68号	平成3年度小浜市老人医療特別会計補正予算(第1号)	"	"
議案第69号	平成3年度小浜市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	"	"
議案第70号	平成3年度小浜市南川地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	"	"
議案第71号	平成3年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計補正予算(第1号)	"	"
議案第72号	平成3年度小浜市公共用地先行取得事業特別会計補正予算(第1号)	"	"
議案第73号	平成3年度小浜市水道事業会計補正予算(第1号)	"	"
議案第74号	小浜市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	"	"
議案第75号	小浜市退隠料等条例等の一部を改正する条例及び昭和35年3月31日以前に給付事由が発生した退隠料等の年額の改定に関する条例の一部改正について	"	"
議案第76号	小浜市土地開発基金条例の一部改正について	"	"
議案第77号	小浜市高齢者等福祉基金条例の制定について	"	"
議案第78号	小浜市ふれあいスクール設置条例の制定について	"	"
議案第79号	辺地の総合整備計画について	市長	"
議案第80号	字の区域の変更について	"	"
請願第1号	福井銀行旧玉前支店に係る物件の取得並びに保存活用について	団体	継続審査
陳情第3号	官公労働者の早期賃金決定と労働時間短縮を求める陳情書	"	採択
陳情第6号	朝・日国交正常化の早期実現を求める意見書採択に関する陳情書	"	"
陳情第7号	前福井銀行玉前支店跡地利用について	"	継続審査

女性管理職

Q 男女雇用機会均等法が成立して間もないが、あらゆる方面で女性の進出がめざましい。

A 女性の意見を反映した行政の推進など、今後の女性管理職の登用についての考えを伺いたい。

A 女性の管理職登用は今や時代のすう勢であり、人事の活性化とソフトな行政サービスという観点から、それにふさわしい人があれば登用していきたいと考えている。

近年、女子職員にも幅広い行政能力を養っていただくため、普通科、高等科といった研修にも積極的に参加させている。

開かれた市政

Q 市長は「市民参加の行政のために、開かれた市政として市民の声を聞き、その声を行政に反映することに努力したい」と言っているが、現時点においてどのような方法で市民の声を聞いてきたか伺いたい。

A また、モニター制度や公聴制度等は考えていないのか。公約の一つに「開かれた市政」の実現を掲げて

いるが、その気持ちは現在も全く変わっていない。

各地区の行政懇談会、各種諸団体との懇談会をはじめ、区長要望等により、意見、要望をお聞きしている。

今後とも、市民の皆様との対話に積極的に参加し、それぞれの意向をできるだけみとり、行政に反映させたい。

モニター制度、公聴制度については、検討を重ねていきたい。

情報公開

Q 昭和六十三年九月定例会において、市長は所信表明で「市民参加の開かれた市政推進のため、情報公開制度の実施について検討する」と明言されたが、三年経過した現在、その進捗状況並びにいつ頃実施されようとしているのか伺いたい。

A 情報公開制度は、市政に関する情報の公開を求める権利を保障することにより、市民参加の開かれた市政の推進を図り、住民自治のより一層の発展に寄与することを目的としている。

本年度より、情報公開の制度化に備え、文書保存方法を統一し、文書作成から編さん、保管、保存、廃棄に至る一連の書類整理の流れを系統的に

整理するよう公文書の「背番号化」を実施している。

今後の見通しとしては、小浜市公文書公開等の制度化に関する懇談会を設置し、市からの諮問に対し制度の基本的なあり方について検討いただき、答申願いたいと考えている。

その答申に基づき、小浜市公文書公開条例を次期議会に提案したい。

なお、施行は平成四年度から実施したいと考えている。

環境保全

Q 本市は「海に抱かれた歴史文化観光都市」を目標としているが、小浜湾の現況をみると、ゴミ、生活排水河川からの泥水等の影響が心配されている。

市として、水質保全、ゴミ対策など、環境保全対策についてどのように考えているのか伺いたい。

A ゴミのリサイクル、減量化等について、廃品回収の実施団体等に対し、何らかの助成ができないのか。

また、リサイクル、減量化の計画、対策の基本的な考え方を伺いたい。

A 小浜湾の水質は、県知事の定めた環境基準によると、一番きれいな水に適用

議		議員	
意見書	第八次治水事業五箇年計画の策定に関する意見書	議員	原案可決
意見書案第3号			
意見書案第4号	第八次治水事業五箇年計画の策定に関する意見書		
意見書案第5号	官公労働者の早期賃金決定と労働時間短縮に関する意見書		
意見書案第6号	日・朝国交正常化の早期実現を求める意見書		
議案第81号	教育委員会委員の任命について	市長	原案同意

されるA類型の基準である。

本市として、海域の水質汚濁防止のため、①市街地における公共下水道の整備、②農漁村における集落排水設備の整備、③市民に対する自然にやさしい環境づくりの普及啓発等を行っている。

廃棄物による海域の汚染防止対策としては、①海へのゴミの投げ捨て防止啓発活動、②堆積廃棄物の除去と海底耕うん、③漁港及び海浜の清掃、漂流物の焼却等の協力、④河川へのゴミの投げ捨て防止などを実施している。

また、廃品回収を実施して再資源化を各種団体に呼び掛けており、団体に対する廃品回収の助成制度についても、業者の育成も含め検討している。

今後の廃棄物行政、リサイクル運動の推進方策としては、①各区における環境美化推進員の設置、②区単位の環境美化モデル区の指定、③市民美

化推進大会の実施、④ゴミの分別資源化推進会議の開催、⑤ゴミの分別強化月間の制定、⑥分別収集の見直し、⑦市街地のゴミ集積所のステーション化の導入、⑧消費生活行政とタイアップしたゴミの減量化、資源化対策、⑨生活環境ハンドブックの作成等を考え

ており、市民と行政が一体となったゴミの適正処理、リサイクル運動をめざしている。

一般廃棄物処理

Q 谷田部地区に建設が予定されているクリーンセンターについて、その計画概要並びに財源措置はどうなっているのか。

A 既存の処理施設におけるいろいろな問題点については、新施設の建設計画に反映されているのか。

A 平成元年度にクリーンセンターの建設を含めた将来十六年間のゴミ処理を行

う一般廃棄物処理基本計画を策定した。

クリーンセンターの建設計画は、敷地面積二万平方メートル、施設としてゴミ処理施設、粗大ゴミ施設、余熱利用施設等を考えている。

平成三年度に、環境アセスメント、用地測量、基本計画、平成四年度に、都市計画審議会諮り、整備計画、平成五、六年度に実施設計、建設工事、平成七年度から供用開始を予定している。

財源については、施設建設事業費として約四十億円を考えており、内訳は国・県補助地方債、一般財源を想定している。

新施設における改良点としては、①プラスチック類の焼却に伴う有害ガス除去装置の設置、②余熱利用施設の併設、③粗大ゴミ処理施設の併設、④自動化システムの採用に伴う人員の省力化等を計画している。